

## 湘南地区メディカルコントロール協議会 救急救命士病院（再教育）実習ガイドライン

### 1 病院実習（再教育）の目的

医療の進歩に対応する知識と技術の習熟，これまでに習得した技術の検証，医療との連携の維持等を目的に，救急救命士の資格を有する救急隊員が行う高度な応急処置の質の更なる向上を図るとともに，病院内の診療について理解と認識を深め，病院前医療におけるメディカルコントロールの意義を再認識し，救急活動プロトコールを実践する手法を錬磨する。

### 2 病院実習と研修単位制

所定病院実習 128時間／2年間のうち，少なくとも96時間以上の病院実習を行う。

残り32時間については，湘南地区メディカルコントロール協議会が別表1に定める学会・研修会等（以下「指定研修会」という。）を受講し，参加証あるいは認定証の写し等，受講を証明するものを所属消防機関へ提出した場合，湘南地区メディカルコントロール協議会は，別表2に定める単位を認定し，その単位取得によって実習に替えることができるものとする。

また，別表1-1に定める実践技能教育コースに指導者，協力員等として参加し，参加証あるいは認定証の写し等，参加を証明するものを所属消防機関へ提出した場合，湘南地区メディカルコントロール協議会は，別表2に定める単位を認定し，その単位取得によって実習に替えることができるものとする。

なお，研修1単位を実習1時間に換算する。

### 3 実習医療機関

(1) 救急救命士病院（再教育）実習（以下「再教育病院実習」という。）を行う医療機関は，次の医療機関とするが，どちらかに偏らず実習する体制が望ましい。

- 救命救急センター
- 下記4に掲げる再教育カリキュラムを勘案し，必要な教育を受けることができると認められ，湘南地区メディカルコントロール協議会が適当と認めた二次医療機関

(2) 施設基準

- 24時間体制で救急患者を受け入れていること。
- 実習管理責任医師（救急専任が望ましい。）及び事務担当責任者がいること。
- 常時適切な指導者のもとで実習できること。
- 実習に際して，倫理委員会（それに代わる委員会等でも可）にて許可を得ていること。

(3) 実習指導医師の救急車等同乗による実地研修

- 実習指導医師の救急車等同乗による指導のもとに出場した救急活動及び救急搬送については，当該医師所属医療機関における実習と同等に扱う。

#### 4 再教育カリキュラム（実習目標）

- (1) 各実習医療機関は、実習責任医師及び事務担当責任者を定め、実情に応じて次に掲げる部門における実習を組み合わせた2年間で96時間以上となる病院実習カリキュラム（以下「カリキュラム」という。）を作成し、湘南地区メディカルコントロール協議会病院実習作業部会の承認を得ること。

##### 実習部門

##### ア 救急診療研修

###### 一般目標：

救急外来に来院する傷病者の診療活動に参加しながら、病院前診療方法を錬磨する。

###### 行動目標：

- 救急搬送患者の救急活動記録をチェックし、病院連絡・救急活動記録の適切な方法を説明できる。
  - 救急搬送患者に対する視診、聴診、触診及び問診から、主訴、自・他覚症状、現病歴、既往歴等の患者情報の聴取を理解する。
  - バイタルサイン・基本的な身体所見の観察方法を説明できる。
  - 主要な症候・病態及び疾患を理解し、病院前に必要な診療・処置内容とその手順を説明できる。
  - 標準的心肺蘇生法を経験し、心肺蘇生ガイドラインに基づく病院前心肺蘇生法の手順を説明できる。
  - 心停止、危険な不整脈の心電図所見を学び、心電図モニターの観察方法を理解する。
  - 外傷患者に対する、病院前の標準的な観察処置法を理解する。
  - 人工呼吸及び酸素療法の適応と手技を理解する。
  - 心臓機能停止及び呼吸機能停止の状態の患者等に対する、気管内チューブによる気道確保を経験し、的確かつ安全に施行することができるとともに危険因子を認識し、事故発生時に適切に対処することができる。（気管挿管認定救急救命士に限る。）
  - 末梢静脈路の確保を経験し、手順及び合併症を説明できる。
  - 緊急薬剤（アドレナリン・ブドウ糖）の使用を経験し、手順、薬効評価と観察、合併症とその対策を説明できる。（当該薬剤投与認定救急救命士に限る。）
  - 緊急薬剤（アドレナリン・ブドウ糖）の使用に関する病院内のリスクマネジメントの概念及び方策について実践できる。（当該薬剤投与認定救急救命士に限る。）
- イ 各種検査（画像検査・検体検査・生理検査など）
- 各種検査の補助・見学により、救急診療における検査の意義について理解する。
- ウ 手術室・麻酔科研修
- 手術室における麻酔管理に接し、病院前診療に必要な気道・呼吸管理及び輸液管理の基本を学ぶ。

- 麻酔導入時マスクによる自発呼吸下酸素吸入，導入後のマスクによる人工呼吸から喉頭展開，気管挿管，管の固定，人工呼吸再開までを実践する。（気管挿管認定救急救命士に限る。）
  - 各種手術を見学し，重要臓器の解剖学的特徴を理解する。
- エ ICU・病棟研修
- 基本的な看護ケアを経験し，清拭及び体位管理の重要性について理解する。
  - 重症患者の呼吸管理（気道内吸引・肺理学療法）を経験し，その意義について理解する。
  - 各医療処置を補助・見学し，その目的について理解する。
- オ 産科研修
- 正常分娩を見学し，分娩後の母体側の処置・新生児の評価・応急処置の手順を理解する。
- カ 実習指導医師の救急車等同乗による実地研修
- 救急診療研修における行動目標に準ずる。
- キ その他 精神科，小児科などの研修が可能であれば望ましい。
- (2) 同一実習医療機関が複数のカリキュラムを提示しても良いものとする。
- (3) 実習として望ましい具体的行為は，別表3のとおりとする。
- (4) 各カリキュラムにおいて，各部門の実習指導者，研修目標等の実習計画概要（別表4）及び日程表（別表5）を明示すること。
- (5) カリキュラムには，救急診療が8時間以上含まれていること。
- (6) 救急診療の実習には，できるだけ夜間・休日を含むこと。
- (7) 救急診療への対応が，救急専任医師等のチームによって行われている場合には，当該チームに参加して実習をうける体制が望ましい。
- (8) 救急ワークステーション方式等による研修体制は，実習指導医師の救急車等同乗による実地研修を行う場合を除き，救急診療の実習と通常の救急隊のみによる救急出場を明確に区分し，通常の救急隊のみによる救急出場に当たる時間は，病院実習に含まないものとする。
- (9) 気管挿管認定救急救命士の気管挿管実習は，次により行うものとする。
- ア 救急診療研修において，救命処置室に搬入された8歳以上で無呼吸かつ無脈の心肺停止傷病者に対して気管挿管実習を行う場合は，実習指導医師の指導のもとで実施し，湘南地区メディカルコントロール協議会気管挿管の実施に係る再教育ガイドラインに定める実習記録票（救命処置室用）（別紙）により医師の評価を受ける。
- イ 手術室において気管挿管実習を行う場合は，湘南地区メディカルコントロール協議会気管挿管の実施に係る再教育ガイドラインに準拠して，指導担当麻酔科医師の指導のもとで実施し，湘南地区メディカルコントロール協議会救急救命士病院（気管挿管）実習ガイドラインに定める実習記録票により医師の評価を受ける。
- ウ 気管挿管技術レベルの維持・向上のため，上記イによる実習を行うことが望ましい。
- (10) 薬剤投与認定救急救命士の薬剤（アドレナリン）投与実習は，「湘南地区メディカルコン

トロール協議会薬剤（アドレタリソ）投与の実施に係る再教育ガイドライン」に準拠し、実習指導医の指導の下で実施し、同ガイドラインに定める実習記録票等（別紙1，2，3）により評価を受ける。

- (11) 各実習医療機関は、経験症例のレポート提出、口頭試問、筆記試験等により実習の効果測定を実施すること。
- (12) 実習指導医師の救急車等同乗による実地研修における研修に係る記録は、当該救急救命士所属消防本部と各実習医療機関で協議の上作成し、各機関の定めるところにより管理すること。
- (13) 各実習医療機関の実習責任医師は、実習が修了したことの証明書（評価票等も可）を発行すること。

## 5 その他

- (1) 再教育病院実習に関する調整は、湘南地区メディカルコントロール協議会病院実習作業部会がこれを行う。
- (2) 再教育病院実習は、各消防本部と実習医療機関との契約等による。
- (3) 再教育病院実習を行う医療機関は、本ガイドラインに沿って要綱等を策定するものとする。
- (4) 実習生は、医療機関の規則を厳守し、かつ実習管理責任医師及びその他の指導者の指示に従うものとする。
- (5) 再教育病院実習を行う医療機関は、救急救命士の病院実習協力病院である旨、ポスターを院内に掲示する等によりインフォームドコンセントを得ること。さらに、実習の目的と方法を明確にした上で病院の倫理委員会などで承認を得ておくこと。
- (6) 実習指導医師の救急車等同乗による実地研修を含む再教育病院実習を行う医療機関及び消防本部は、当該救急出場が救急救命士の病院実習の一環を兼ねている旨の掲示を救急車内に掲げる等によりインフォームドコンセントを得ること。さらに、医療機関及び消防機関双方で協議の上、実習の目的と方法を明確にした上で病院及び消防本部内などで必要な承認を得るとともに、住民に対する事前広報をしておくこと。

以 上

別表 1

## 湘南地区メディカルコントロール協議会指定研修会一覧

区分	単位	指定研修会名	主 催
学会等	8	全国救急隊員シンポジウム	救急振興財団
		日本臨床救急医学会総会	日本臨床救急医学会
		日本救急医学会関東部会	日本救急医学会関東部会
		日本脳神経外科救急学会総会	日本脳神経外科救急学会
国・県	3	救急救命士業務実地修練	厚生労働省
		県救命情報システム症例検討会	県医師会
		災害時医療救護活動研修会	県保健福祉部
		消防職員特別教育救急救命士研修	県消防学校
地区MC	3	症例検討会・学術セミナー	湘南地区MC協議会
		プレホスピタル研究会	県北・県央地区MC協議会 (北里大学病院)
		救急症例検討会	三浦半島地区MC協議会
医療機関等	2	神奈川県プレホスピタルケアフォーラム	横浜市救急救命士会
		ひらつかER救急事例検討会	平塚市民病院
		平塚共済病院救急隊事例検討会	平塚共済病院
		藤沢市民病院カンファレンス	藤沢市民病院
		湘南救急医療協会AECS	藤沢市民病院
		茅ヶ崎市立病院救急医療研修会	茅ヶ崎市立病院
		伊勢原協同病院救急講座	伊勢原協同病院
		日赤病院勉強会	日赤病院
		神奈川病院勉強会	国立病院機構神奈川病院
		八木病院勉強会	八木病院
		県央救命研究会	海老名総合病院
		東海大学大磯病院救急研修会	東海大学大磯病院
		厚木市立病院勉強会	厚木市立病院
		東名厚木病院勉強会	東名厚木病院
		県立足柄上病院勉強会	県立足柄上病院
		消防救急隊員研修会	寒川病院
		潜水医学講座小田原セミナー	NPO法人潜水医学情報ネットワーク
		藤沢市救急実務講習会	藤沢市消防局
		県西救急研修会	県西地区消防協議会
		大磯町救急実務講習会	大磯町消防本部
国立病院機構横浜医療センター症例検討会	国立病院機構横浜医療センター		
湘南厚木病院ERセミナー	湘南厚木病院		
救急症例検討会	国際医療福祉大学熱海病院		
実践技能教育 コース	別表1-1に定める		
その他	3	救急救命スキルアップセミナー	プレホスピタル救急医学教育研究会
	1	事後検証作業部会(会議傍聴)	湘南地区MC協議会
	1	事後検証作業部会(二次検証作業参加)	湘南地区MC協議会
	3	指定研修会における発表者	湘南地区MC協議会指定研修会
	1	指定研修会における座長又は助言者	湘南地区MC協議会指定研修会

別表 1 - 1

## 実践技能教育コース一覧

	単 位	実践技能教育コース名	主 催	時 間	区 分
1	8	湘南MC外傷セミナー	湘南地区メディカルコントロール協議会	半日	外傷
2	4	湘南MC外傷技術指導員養成セミナー	湘南地区メディカルコントロール協議会	半日	外傷
3	8	湘南MC心肺蘇生セミナー	湘南地区メディカルコントロール協議会	1日	二次救命処置
4	4	湘南MC心肺蘇生技術指導員養成セミナー	湘南地区メディカルコントロール協議会	半日	二次救命処置
5	8	JPTECプロバイダーコース	JPTEC協議会	1日	外傷
6	8	JPTECインストラクターコース	JPTEC協議会	1日	外傷・指導
7	16	AHA ACLSプロバイダーコース	日本ACLS協会	2日	二次救命処置
8	8	AHA BLS HCPコース	日本ACLS協会	1日	一次救命処置
9	8	AHA BLS インストラクターコース	日本ACLS協会	1日	一次救命処置・指導
10	16	AHA PALSプロバイダーコース	日本ACLS協会	2日	小児・二次救命処置
11	8	ICLS	日本救急医学会	1日	二次救命処置
12	4	ICLS BLSコース	日本救急医学会	半日	一次救命処置
13	8	ICLS 指導者ワークショップ	日本救急医学会	1日	二次救命処置・指導
14	16	ITLS アドバンストコース	ITLSインターナショナル日本支部	2日	二次外傷処置
15	8	ITLS 小児コース	ITLSインターナショナル日本支部	1日	小児・二次外傷処置
16	4	ITLS インストラクターコース	ITLSインターナショナル日本支部	半日	二次外傷処置・指導
17	4	ITLS インストラクターアップデートコース	ITLSインターナショナル日本支部	半日	二次外傷処置・指導
18	8	ITLS アクセスコース	ITLSインターナショナル日本支部	1日	交通事故救出
19	4	ISLSコース	ISLS運営委員会	半日	脳卒中
20	4	PSLSコース	日本臨床救急医学会教育研修委員会	半日	病院前脳卒中
21	4	PCECコース	日本臨床救急医学会教育研修委員会	半日	意識障害
22	16	MIMMS アドバンストコース	MIMMS日本委員会	3日	災害救護
23	8	MIMMS ワンデーコース	MIMMS日本委員会	1日	災害救護
24	4	エマルゴトレーニングコース		半日	災害救護
25	8	MCLS標準コース	日本集団災害医学会	1日	災害救護
26	4	MCLSインストラクターコース	日本集団災害医学会	半日	災害救護
27	8	BLSOコース	ALSO-JAPAN	1日	周産期
28	4	JPTECプロバイダー資格更新コース	JPTEC協議会	半日	外傷

※ 上記実践技能教育コースに指導者、協力員として参加した者にも単位を認定する。

### 指定研修会参加・受講認定単位一覧

	区 分	単 位	備 考
A	学術団体等の主催する学術集会	8	終日参加
		16	2日以上の終日参加
B	国又は神奈川県主催する研修会等	3	1日あたり3単位
C	湘南地区メディカルコントロール協議会の実施又は後援する研修会等	1～3	1時間あたり1単位 (1日最大3単位まで)
D	他地区メディカルコントロール協議会の実施もしくは公認する研修会等で湘南地区メディカルコントロール協議会が認めたもの	3	
E	医療機関等が個別に実施する研修会等	2	
F	湘南MC外傷セミナー、JPTEC、ACLSもしくは、これらに類する実践技能教育コースで湘南地区メディカルコントロール協議会が認めたもの	4	半日コース
		8	半日コース又は 1日終日コース
		16	2日以上終日コース

- (注1) 取得単位のうち9単位は、上記Cにおいて取得すること。
- (注2) 上記Aに参加のうえ発表した場合には、3単位を加算する。
- (注3) 上記Fに指導者、協力員として参加した者にも単位を認定する。
- (注4) 上記A及びFについては年間当たりの上限をそれぞれ20単位とする。

**実習として望ましい具体的行為**

実施水準は、次のとおりとする。

A：指導者の指導・監視のもとに実施が許容されるもの

B：指導者の指導・監督のもとに、医行為を行う者を介助するもの

C：見学にとどめるもの

\*（ ）内は、認定救急救命士に限る。

	実習細目	実習水準
1	バイタルサインの観察（血圧，脈拍，呼吸数など）	A
2	身体所見の観察（視診，触診，聴診など）	A
3	モニターの装着（心電図，パルスオキシメーターなど）	A
4	酸素投与	A
5	バッグマスク法	A
6	気管挿管	B(A)
7	食道閉鎖式エアウェイ，ラリングアルマスク	A
8	気道内吸引	A
9	喉頭鏡の使用	A
10	人工呼吸器の使用	C
11	胸骨圧迫心マッサージ	A
12	開胸心マッサージ	C
13	末梢静脈路確保	A
14	点滴ラインの準備	A
15	中心静脈確保	C
16	輸液	B
17	輸血	B
18	除細動	A
19	緊急薬剤（アドレナリン・ブドウ糖）の使用	B(A)
20	緊急薬剤（アドレナリン以外）の使用	B
21	循環補助（ペースメーカー，IABP）	C
22	創傷の処置	B
23	骨折の処置	B
24	胃チューブ挿入	B
25	胸腔ドレナージ	C
26	ナーシングケア（清拭，体位変換など）	A
27	精神科領域の処置	A
28	小児科領域の処置	A
29	産婦人科領域の処置	A



## 実習計画概要

実習医療機関名	実習責任者	事務担当責任者	連絡先
カリキュラム名			
部門名1  実習指導者名  実習時間	実習目標	行動目標	実習方法
部門名2  実習指導者名  実習時間	実習目標	行動目標	実習方法
部門名3  実習指導者名  実習時間	実習目標	行動目標	実習方法

実習カリキュラム日程表の具体例

	午前 (8:00~12:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~翌 8:00)
1 日目	オリエンテーション 救急診療実習	救急診療実習	救急診療実習
2 日目	休み	休み	休み
3 日目	麻酔科実習	休み	休み
4 日目	精神科実習	救急診療実習	救急診療実習
5 日目	休み	休み	休み
6 日目	麻酔科実習	休み	休み
7 日目	精神科実習	救急診療実習	救急診療実習
8 日目	休み	休み	休み
9 日目	精神科実習	休み	休み
10 日目	産科・救急診療実習	産科・救急診療実習	休み
11 日目	産科・救急診療実習	産科・救急診療実習	休み
12 日目	産科・救急診療実習	産科・救急診療実習	休み
13 日目	口頭試問		休み

湘南地区メディカルコントロール協議会  
救急救命士病院（再教育）実習受入医療機関名簿

【順不同】

区 分 等		医療機関名		
<p>一般救急救命士及び気管挿管認定救急救命士 （気管挿管現場実施3症例以上）</p> <p>挿管技術確認（1成功症例）必要なし</p>		東海大学医学部付属病院		
		藤沢市民病院		
		小田原市立病院		
		海老名総合病院		
		厚木市立病院		
		県立足柄上病院		
		平塚市民病院		
		茅ヶ崎市立病院		
		平塚共済病院		
		東名厚木病院		
		東海大学大磯病院		
		湘南東部総合病院		
		湘南藤沢徳洲会病院		
		伊勢原協同病院		
		国立病院機構神奈川病院		
		湘南厚木病院		
		秦野赤十字病院		
<p>気管挿管認定救急救命士 （気管挿管現場実施3症例未満）</p> <p>挿管技術確認（1成功症例）必要</p>		東海大学医学部付属病院		
		藤沢市民病院		
		小田原市立病院		
		海老名総合病院		
		厚木市立病院		
		平塚市民病院		
		茅ヶ崎市立病院		
		平塚共済病院		
		東名厚木病院		
		東海大学大磯病院		
		湘南藤沢徳洲会病院		
		伊勢原協同病院		
		秦野赤十字病院		
		<p>薬剤（アドレナリン）投与認定救急救命士</p>		東海大学医学部附属病院
				藤沢市民病院
				小田原市立病院
				海老名総合病院
厚木市立病院				
県立足柄上病院				
平塚市民病院				
茅ヶ崎市立病院				
平塚共済病院				
東名厚木病院				
湘南東部総合病院				
湘南藤沢徳洲会病院				
湘南厚木病院				
秦野赤十字病院				
<p>気管挿管及び薬剤 （アドレナリン） 投与認定救急救命士</p>	<p>気管挿管現場実施 3症例以上</p> <p>挿管技術確認（1成功症例）必要なし</p>			東海大学医学部附属病院
				藤沢市民病院
				小田原市立病院
		海老名総合病院		
		厚木市立病院		
		県立足柄上病院		
		平塚市民病院		
		茅ヶ崎市立病院		
		平塚共済病院		
		東名厚木病院		
		湘南東部総合病院		
		湘南藤沢徳洲会病院		
		湘南厚木病院		
		秦野赤十字病院		
		<p>気管挿管現場実施 3症例未満</p> <p>挿管技術確認（1成功症例）必要</p>		東海大学医学部付属病院
				藤沢市民病院
				小田原市立病院
	海老名総合病院			
	厚木市立病院			
	平塚市民病院			
	茅ヶ崎市立病院			
	平塚共済病院			
	東名厚木病院			
	湘南藤沢徳洲会病院			
	秦野赤十字病院			